

# 時を経て、増す魅力 古着を楽しもう

人とはちょっと違ったおしゃれを楽しみたい。そんな人たちに人気なのが古着です。特に若い人たちにとって、古着は自分らしさを表現するのに欠かせないファッションアイテム。そこで古着店を営む袖林孝幸さんに、注目の古着アイテムと着こなしのポイントなどについて教えてもらいました。



教えてくれた人

袖林孝幸さん「one and only」(盛岡市本宮)「one and only second store」(滝沢市鶴飼)オーナー。「古着は1点もの。だからこそこまめに店に足を運ぶのがお気に入りを見つけるコツ。スタッフのアドバイスもぜひ参考にしてください」

## 手持ちのファッションと組み合わせる「古着mix」

盛岡は古着愛好者が多い町。そう話すのは盛岡市と滝沢市で古着ショップを営む袖林さん。全国展開をする大手の古着店が実は盛岡発祥だったり、人口に比較して古着店が多かったり。盛岡には古着に親しみやすい環境が整っているのかもしれない。

「古着やヴィンテージのおしゃれを積極的に楽しんでいるのは高校生から20～40歳代が中心ですが、なかには60歳代の人もいて意外とファンの年齢層は幅広いですよ」と、袖林さん。世界的にも古着ブームは定着しており、ヴィンテージのジーンズやスニーカーなどには熱烈なファンが多いとか。

ところで、よく聞くそのヴィンテージという言葉、一般的な古着とはどのような違いがあるのでしょうか。「一度でも使用すればユーズド、生産を中止している未使用品はデッドストックと呼ばれています。ユーズドの中でも年代や品質、希少性に優れた逸品がヴィンテージ。名の通ったヴィンテージは価格も高く、たとえばヴィンテージジーンズなどはマニアの間では驚くほどの高値が付きます」。

大量生産された安価なファッションが普及している今、古着は「人とかぶらないおしゃれ」を求める人にとっては、個性を表現できる重要なアイテム。古着1枚加味するだけで十分な存在感を放ちます。だからこそ、手持ちのアイテムなどと組み合わせる「古着ミックス」が今のトレンド。ぜひこの秋冬は古着を取り入れたファッションを楽しんでみましょう。



個性的なデザインが魅力のユーズドのTシャツ。ほとんどが1点もの



世界中で人気のスケートボードブランド「シュプリーム」。ストリートファッションの代表的ブランドとして、男女問わず人気

## 古着と上手に付き合うコツ

1

### コンディションをチェックしよう

古着なので、シミや汚れなど、ダメージがある場合もあります。取れかかったボタンなどは付け直せますが、ジッパーなどのパーツは、新しくするとせっかくの古着の雰囲気を損ねてしまうことも。そんな時はダメージを「古着の味」ととらえ、そのまま楽しむのもひとつの方法です。

2

### 古着の特徴を理解しよう

「以前、誰が着ていたかわからないので抵抗がある」「匂いがする」と気にする人がいますが、時間を重ねることで味わい深くなるのが古着の良さ。それが古着の特徴と理解しましょう。匂いは洗濯することで解決します。

3

### 必ず試着してフィット感を確認しよう

ここ数年、ネットショップでも簡単に売り買いできるようになった古着。お気に入りの1品や掘り出し物に出合ったら「即買い」がおすすめ。ただ、ネットショップでは試着できないので、サイズやカラー、ダメージの程度などをしっかり確認して。店舗で購入の場合は、必ず試着するよう心がけましょう。



古着mixのお手本! この秋冬のおすすめコーディネート

シンプル&  
機能性を重視



サングラス(私物)

ノースフェイスのダウン(ユーズド)。店頭販売価格は新品の6割程度。ユーズドダウンの中ではノースフェイスの機能性は高く、保温性に優れています

Tシャツ(私物)男性の場合はインせず、ラフに着こなします

ジーンズはリーバイス501xx。これは1950年代のもの。特にナチュラルな色落ち感にファン多し

アディダスのイージーブースト(ユーズド)。アウトドア感のあるスタイル

POINT

ヴィンテージのリーバイス501xxとユーズドのダウンをシンプルにコーディネートしました。スリムなシルエットに慣れていると、ややゆとりあるヴィンテージジーンズは着こなしが難しいので、足元にはイージーブーストをチョイス。トータルでバランス良く仕上げています。

モデル/  
松田侑希さん(24歳)

「古着には新品に出せない味があります。この冬はこのイージーブーストが欲しいです」

ネイティブ系&流行の  
スカジャンをプラス



帽子(私物)

Tシャツ(私物)女性はインして、キレイめに着こなします

ラルフローレンのショールニットカーディガン(ユーズド)。メンズ用。ネイティブ系のナチュラルな色合い

デニムはリーバイス(ユーズド)

パンプス(私物)

スカジャン(ユーズド)。50年代の日本製。リバーシブルで、表には鷲の大きな刺しゅう、裏側にはマップが刺しゅうされています。光沢があるサテン地は、女性の顔を華やかに見せます

スカンツ(私物)一見足首丈のスカートに見えますが、実はパンツ。コーディネート次第でフェミニンにもスポーティーにも

スニーカー(コンバースのヴィンテージ)

POINT

足元はスニーカーではなく、あえて黒いパンプスを合わせて、古着をキレイめにコーディネートしてみました。ネイティブ系のロングカーディガンは実はメンズサイズ。袖をまくったり、後ろ身頃を絞ったりして着れば、十分女性らしく着こなせます。幅広い年齢層におすすめのコーディネート。

POINT

戦後、日本に駐留していたアメリカ兵のお土産用に作られていたスカジャン。今、再び流行中!1枚羽織るだけで十分な存在感を放つので、いわば「1点豪華主義」ともいえるコーディネート。同じく流行中のスカンツと黒のレースキャミソールをインして女性らしく。

左のモデル/  
階実咲さん(25歳)

「ユーズドのリーバイスはゆとりがあってはいていて楽。足首を見せてはく」といい感じ!

右のモデル/  
小笠原綾乃さん(28歳)

「このコーディネートはすごくかわいい!人とかぶらないから古着が好きです」

根強い人気! コンバースのオールスター



ヴィンテージスニーカーとして根強い人気を誇るアメリカ製の「コンバース」。国内外を問わず熱的なファンが多く、メンズのヴィンテージには10万円を超えるものもあります。今やスカートに合わせるのも定番となりました。

製造年代の見分け方



「コンバース」のオールスターの製造年代を簡単に見分けるには、かかとに付いているヒールパッチに注目。おおまかに言うと、黒は70年代、白は80年代以降の製造。選ぶ時は、ゴム底の劣化具合をチェックしましょう。

あこがれはリーバイス501



古着ビギナーにおすすめなのがジーンズ。なかでもヴィンテージジーンズとして人気の「リーバイス501」は定番中の定番。独特の色落ちの風情やシルエットは、大人の男性にこそ着こなして欲しいアイテムです。